

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 11月

令和5年11月1日の推計人口 1,265,904人
世帯数 558,466世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和5年11月1日現在の推計人口は、1,265,904人で、前月（1,266,334）に比べ430人の減少となった。

市部では、大村市（153）、諫早市（20）の2市で増加し、長崎市（△183）、南島原市（△66）、西海市（△52）、対馬市（△44）、島原市（△37）、壱岐市（△33）、松浦市（△31）、雲仙市（△31）、平戸市（△29）、五島市（△17）、佐世保市（△5）の11市で減少した。

郡部では、波佐見町（16）、小値賀町（4）の2町で増加し、新上五島町（△39）、長与町（△25）、佐々町（△13）、東彼杵町（△9）、時津町（△6）、川棚町（△3）の6町で減少した。

自然動態は、出生数650人、死亡数1,688人で1,038人の減少、社会動態は、転入者数3,308人（県内転入を含む）、転出者2,700人（県内転出を含む）で、608人の増加となった。

2 世帯数

令和5年11月1日現在の世帯数は、558,466世帯で前月（558,149）に比べ317世帯の増加となった。

（注）

・異動人口推計＝R2国勢調査確定数＋住民基本台帳（転入、転出、出生、死亡）

【賃金・労働時間・雇用（30人以上）】 …… 9月

1人当たり現金給与総額 245,869円
対前月比 3.1%減少
対前年同月比 0.4%増加

1 賃金

9月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は245,869円で、前月に比べ3.1%減少し、前年同月に比べ0.4%増加した。

現金給与総額を定期給与（きまって支給する給与）と特別給与（特別に支払われた給与）に分けると、定期給与は241,382円で、前月に比べ1.2%減少し、前年同月に比べ0.1%減少した。

特別給与額は4,487円で、前年同月に比べ、1,293円増加した。

2 労働時間

9月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は145.5時間で、前月に比べ2.6%増加し、前年同月に比べ0.9%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は134.5時間で前月に比べ2.0%増加し、前年同月と比べ、1.2%増加した。

所定外労働時間数は11.0時間で、前月に比べ11.1%増加、前年同月に比べ2.6%減少した。

3 雇用

9月の常用労働者数は210,188人で、前月に比べ、1.9%増加し、前年同月に比べ1.5%減少した。

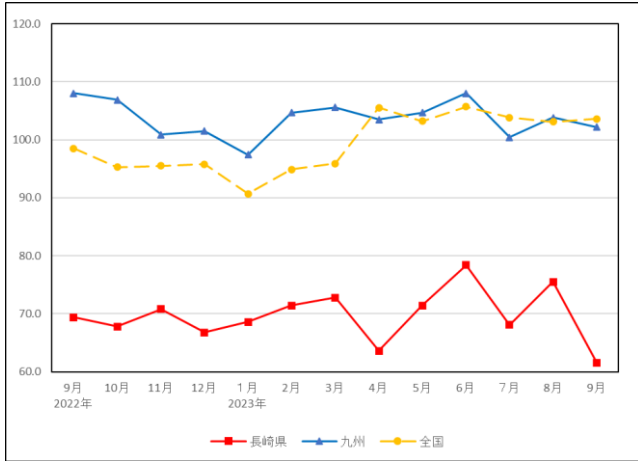
【鉱工業生産指数】……………9月

令和5年9月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	前月比(%)			
長崎県	61.5	△18.5	65.0	△11.8
九州	102.2	△1.6	107.7	△6.3
全国	103.6	0.5	107.2	△4.4

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2023年9月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が61.5で対前月比は18.5%の低下、原指数は65.0で対前年同月比は11.8%の低下となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、窯業土石製品工業、繊維工業など5業種が上昇し、電気機械工業、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業など8業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	93.5	蒸気タービンの部品・付属品
窯業・土石製品工業	8.0	生コンクリート
繊維工業	7.2	漁網・陸上網

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△44.1	交流発電機
輸送機械工業	△25.7	修繕船
電子部品・デバイス工業	△20.3	半導体集積回路

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………10月

総合指数(R2=100)

107.1

対前月比

0.7%上昇

対前年同月比

3.2%上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、107.1である。

前月比0.7%の上昇で、主な上昇要因は「光熱・水道」が6.9%上昇、「食料」が0.7%の上昇であった。

主な下落要因は「交通・通信」が0.1%の下落、「保健・医療」が0.1%の下落であった。

前年同月比は、6月は2.9%上昇、7月は3.3%上昇、8月は3.4%上昇、9月は2.9%上昇と推移したのち、10月は3.2%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は106.3で前月比0.6%の上昇であり、前年同月比は3.1%の上昇であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

光熱・水道	6.9%
食料	0.7%
教養娯楽	0.2%
諸雑費	0.1%

同水準の費目

家具・家事用品	±0.0%
住居	±0.0%
被服及び履物	±0.0%
教育	±0.0%

▽下落した費目

保健医療	△0.1%
交通・通信	△0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………10月

消費支出(一世帯当たり) 282,439円

前月比

20,194円減少(△6.7%)

令和5年10月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は282,439円で、前月比6.7%の減少、前年同月比は19.5%の減少であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は63.0%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。